

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	尾鈴土地改良事業費				開始年度		
基本目標	活力ある農業の振興				終了年度		
担当課(局)	産業振興課	担当係	農村整備係	記入者	長友和也	評価者	長町信幸
21年度決算	7,695	千円	22年度予算	6,173	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	1,437 千円		22年度人件費	1,457 千円		事業従事者数	0.20 人 0.20 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	尾鈴土地改良事業の早期機能発現
事業の内容	染ヶ岡地区畑地かんがい営農組合への補助。染ヶ岡地区土地改良事業事業計画書作成業務委託

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# モデルほ場	作物調査を行い、かんがい用水の効果を実証する。
	2 尾鈴土地改良事業事業計画書作成	尾鈴土地改良事業の区域となっている染ヶ岡地区の事業計画書を作成する。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# モデルほ場組合総会	モデルほ場営農組合の総会を年1回行う。
	2 作付調査	染ヶ岡地区事業計画書作成のため作付調査を行う。年1回
	3 モデルほ場調査	かんがい用水を利用した作物の調査を行う。2つ以上の作物について。

◎達成状況

		指標名	単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	モデルほ場	目標値	箇所	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	尾鈴土地改良事業事業計画書作成	目標値	件	0	1	1
		実績値		0	1	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	モデルほ場組合総会	目標値	回	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	作付調査	目標値	回	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	モデルほ場調査	目標値	種	4	4	2
		実績値		4	4	
		達成率	%	100.0%	100.0%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	公共性を考慮すると町が行うことが望ましい。同様の事業については産業振興課のみが行っている。事業推進のため、また、受益者の同意を得られるためにも継続は必要である。平成24年度より鬼ヶ久保地区及び染ヶ岡地区で事業着手予定である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	染ヶ岡地区において営農を行っている農業者にとってはモデルほ場を視察することにより、かんがい用水の必要性が再認識される。県営事業を行うためには事業計画書は法的な手続にも使用するため必要不可欠のものである。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	平成24年度に国営事業が完了し平成24年度から県営事業が開始されるが、効果としては他農家の経営状態の参考となり、経費、時間の削減についてはあまり余裕がない。事業計画書作成については県の補助を50%確保しており、単独費の削減は困難である。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	協働するのはほぼ農家に限られてくる。

事務事業名	尾鈴土地改良事業費	担当課(局)	産業振興課
-------	-----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	小丸川左岸の畑地帯農業振興のためには、必要な事業である。	今後の方向性				
			拡充				○
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎事業推進のための課題が山積している。事業の的確な説明が必要と考える。 ◎この事業は町単独で行っている事業ではなく、また一ツ瀬事業と尾鈴土地改良地区との手法も異なるので、公平公正の見地のもと、推し進めていただきたい。 ◎事業名が改良事業そのものを指しているのなら、事務事業評価の中で判断することは不可能ではないか。
	コスト	現状維持	